

日本哲学会 第68回大会(慶応大学 三田キャンパス)プログラム

5月16日(土) < 第1日目 >

	研究発表第1会場 (第一校舎109)	研究発表第2会場 (第一校舎111)	研究発表第3会場 (第一校舎122)	研究発表第4会場 (第一校舎124)
10:00~	アリストテレスの時間論における「今」の二重性 西田伊知郎	アプオリナ知識と哲学の地位 宮園健吾	自己犠牲的行為は私たちに何を告げているか？ 田村 均	非・コミュニケーションの生態 ジル・ドゥルーズの政治哲学 千葉雅也
10:40~	運と教育 ～アリストテレス倫理学の一側面 立花幸司	価値実在論は自然選択説と両立できるか？ 鈴木 真	J.S.ミルの幸福論 再論 水野俊誠	環境思想における価値の二極化とその克服 ノートの環境プラグマティズムを手がかりに 寺本 剛
11:20~	不正が恥すべきことであるのはいかにしてか？ プラトン『ゴルギアス』474c4-475e6をめぐる 宮崎文典	人工物の実在性 自然種の実在論の擁護 植原 亮	道徳的運のもとでの責任概念について 道徳において偶然性は解消されるべきか 中村隆文	歴史の経験が現在の経験か ヘーゲル『精神現象学』における精神章の叙述の対象について 黒崎 剛
12:00~	委員会(研究棟 A会議室)			
13:00~	第61回総会(西校舎ホール) 【式次第】 ・議長挨拶(飯田隆) ・会長挨拶(高山 守) ・一般報告(北川東子) ・国際交流活動報告(種村 完司) ・前年度決算報告(堀江 聡) ・会計監査報告(高橋久一郎・山田弘明) ・本年度予算案審議(堀江 聡) ・編集委員会報告(座小田 豊) ・若手奨励賞表彰式			
14:00~ 17:00	シンポジウム(西校舎ホール) 「格差・平等・国家」 提題者 加藤 泰史 川本 隆史 コメンテーター 金子勝(慶応義塾大学) 齋藤 純一(早稲田大学) 司会 種村 完司 新田 孝彦			
18:00~	懇親会(西校舎 生協食堂 会費5000円)			
大会本部(第一校舎108) 会員控室(第一校舎110) 電話連絡先:090-3802-5114				

5月中旬より正門側南校舎工事予定

5月17日(日) < 第2日目 >

	研究発表第1会場 (第一校舎109)	研究発表第2会場 (第一校舎111)	研究発表第3会場 (第一校舎122)	研究発表第4会場 (第一校舎124)
10:00~	「純粹悟性概念の演繹」の倫理的射程 宮村悠介	ブラッドリーの後退と事態の可能性 秋葉剛史	ライブニッツとデイドロの哲学における象徴による知識 フォヴェルグ・クレール	ワークショップ 「高等学校「哲学・倫理」教育の現状と課題」 発表者 谷田 増幸 (文部科学省(国立教育政策研究所)) 発表者 渡辺 祥介 (札幌創成高校) 発表者 大谷 いづみ (立命館大学) 司会 坂井 昭宏
10:40~	仮象と誤謬 カントの誤謬推理論の射程をめぐって 新堂 彩	『論理哲学論考』から『哲学的文法』第2部へ～ウイゲンシュタイン「中期」の数学の哲学～ 入江俊夫	ハイデガー存在論の構造転換と場所論の課題 景山洋平	
11:20~	カント実践哲学における尊敬の感情 山蔦真之	自己知の問題と合理的行為者性 島村修平	ロールズは功利主義の何を批判していたのか 池田 誠	
12:00~	委員会(研究棟 A会議室)			
13:00~	カントの超越論的神学の意義 三浦 立	ベルクソンとスミスの道徳論における相違について 動機づけの問題と人格観を中心に 齋藤 尚	「死に至る病」における「絶望の弁証法」についての考察 鈴木祐丞	初中教育における哲学教育の可能性 世田谷区の教科「哲学」の取り組みを手がかりに 土屋陽介、村瀬智之、山田圭一
13:40~	古代神学者としてのアリストテレス ユリウス・カエサル・スカリゲルの創造論と三位一体論 坂本邦暢	記憶の場所 ベルクソン『物質と記憶』における想像力と図式論の問題 藤田尚志	後期牟宗三の仏教的存在論と京都学派 朝倉友海	受肉する「私」 ウイゲンシュタインが最後に考えた確実性の問題 山田圭一
14:20~	休憩			
14:30~ 16:30	【共同討議 (第一校舎 121)】 「リアリティとヴァーチャル・リアリティ」 提題者 神崎 繁 水谷 雅彦 司会者 牧野 英二		【共同討議 (第一校舎 123)】 「哲学史を読み返す～ベルクソン」 提題者 戸島 貴代志 中田 光雄 司会者 檜垣 立哉	
大会本部 (第一校舎108) 会員控室 (第一校舎110) 電話連絡先:090-3802-5114				